

JAとりで通信 NO.410

2024.12.25

連載

連携医のご紹介

連載

呼吸器によくある疾患

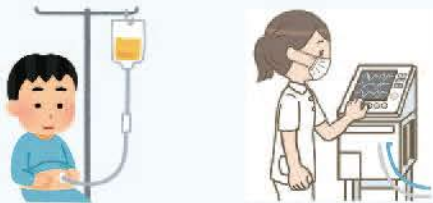


当院には、厚生労働省の「特定行為に係る看護師の研修制度」により、専門的に養成された特定行為研修修了看護師が在籍し活動しています。

● 「特定行為」とは

「特定行為」とは、特定行為研修を修了した看護師が、医師が作成した手順書に準じて行う「診療の補助」行為です。

特定行為研修修了者は、実践的な理解力、思考力および判断力のほか、高度で専門的な知識及び技能を身につけています。



● 特定行為を実施するメリット

特定行為を実施するメリットは、看護師が医療チームの一員として、患者さんの状態に応じてタイムリーに治療・処置を提供できる点です。医師が予め作成する「手順書」（看護師に診療の補助を行わせる患者さんの病状の範囲や診療の補助の内容等を示した文書）に従って実施します。

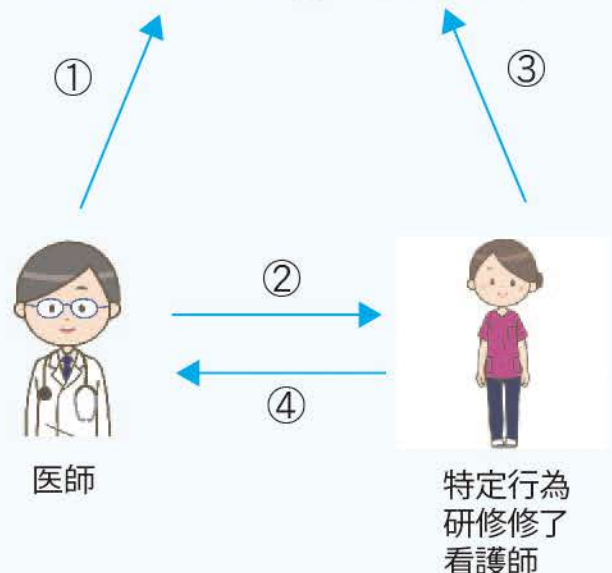
例えば患者さんが脱水ではないかと看護師が疑った場合、研修を受けていない看護師の場合は、医師に症状を報告し、点滴の指示を出してもらってから実施します。研修修了後の看護師の場合は、予め脱水症状に対する点滴が手順書に示されており、医師の処方がなくともタイムリーに実施できます。

● 特定行為の実施について（右の図を参照）

- ① 医師が患者さんに対して特定行為の実施について説明します。特定行為の実施にあたり、患者さんは「診療の補助」全体に関してご了承いただいたものと判断させていただきます。同意いただけない場合は、医師又は当該病棟・外来の看護師長、または患者相談室までお申し出ください。ご同意いただけない場合であっても治療や看護上で不利益を被ることはありません。個人情報につきましても適切に管理致します。
- ② 医師から特定行為研修修了看護師が手順書（指示書）を受け取ります。
- ③ 患者さんの体調を確認し、「手順書」に基づいて特定行為を実施します。（人工呼吸器の設定変更など）
- ④ 特定行為研修修了看護師は医師に実施した特定行為を報告します。

* 実施した特定行為について院内の「看護師特定行為医療安全部会」で評価し、患者さんにより安全で安心な治療・処置を提供できるように努めます。

外来・入院患者さん、訪問看護の利用者さん



特定行為
研修修了
看護師

● 当院で実施している特定行為の区分

特定行為の区分の名称	特定行為
呼吸器（気道確保に係るもの） 関連	・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている患者に対する鎮痛薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱
ろう孔管理関連	・ 胃ろうカテーテル若しくは胃ろうボタンの交換 ・ 膀胱ろうカテーテルの交換
栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル関連）	・ 中心静脈カテーテルの抜去
動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連	・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正
血糖コントロールに係る薬剤 投与関連	・ インスリンの投与量の調整
術後疼痛管理関連	・ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整

● 特定行為研修修了看護師のご紹介



大友 尚子(手術室)

特定行為の区分：術中麻酔パッケージ
タイムリーで適切な治療や処置を実施することで、患者さんの早期回復に貢献できると考えています。患者さんに寄り添い、安心・安全な看護の提供を目指します。



脇田 智美(訪問看護ステーション)

特定行為の区分：ろう孔の管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
胃瘻ボタン・膀胱瘻カテーテルの交換及び輸液の調整等について、在宅で状態を見極め安全に配慮した上で実施します。



佐野 広和(救急外来)

特定行為の区分：呼吸器（気道確保に係るもの）関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
緊急性の高い患者さんへの初期対応を行います。患者さんの状態を評価し、早期介入とタイムリーな処置で重症化予防と早期退院に向けて貢献していきます。



宮本 省三(3階南病棟)

特定行為の区分：血糖コントロールに係る薬剤投与関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
低栄養・脱水、血糖値の異常な変動をタイムリーに補正し、患者さんの早期回復、症状改善に努めます。



片桐 有紀(5階南病棟)

特定行為の区分：栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
患者さんの状態を把握し、手順書に従い、低栄養及び脱水症状に対してタイムリーに輸液による補正を行うよう努めます。



鎮目 祐子(HCU病棟)

特定行為の区分：呼吸器（気道確保に係るもの・人工呼吸療法に係るもの）関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、動脈血液ガス分析関連、栄養および水分管理に係る薬剤投与関連
HCUの患者さんが早期回復できるようお手伝いさせていただきます。

連載

呼吸器によくある疾患

呼吸器内科部長 山下 高明

間質性肺炎(2)

「間質性肺炎」について、先月の続きを掲載します。

●間質性肺炎

「間質性肺炎」とは何かといいますと、「べつに大して生存の危機をもたらすわけではない異物」に対して、免疫細胞が過剰に反応して攻撃する病気を指します。免疫細胞もつねに賢いというわけではないのです。言ってみれば、番犬が郵便配達のおじさんを攻撃するようなものです。問題なのは免疫細胞が異物に攻撃するのが肺という場所なので肺に障害が生じてしまう。つまり「肺炎」が生じてしまいます。

番犬（免疫細胞）は悪気があって肺を害するわけではないのです。免疫の仕組みというものがあって、特定の外来異物を敵とみなすようになってしまったため、それに従っているだけなのです。

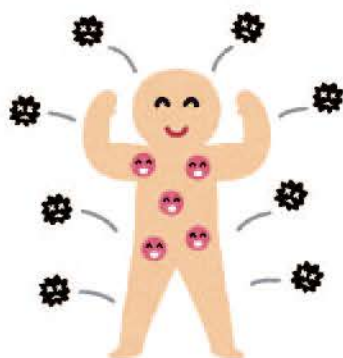
●過敏性肺炎

具体的な例として「カビ」、「鳥の羽糞」に反応する「過敏性肺炎」があります。はじめのうちは何ともなかった鳥の羽（目に見えない破片）を長年吸い込んでいるうちに免疫システムがこれを敵とみなすようになります。同じ環境にいるのに、なぜAさんは「過敏性肺炎」になりBさんはならないのかなど、詳しい仕組みはわかっていません。

原因となる物質のことを抗原といいます。「過敏性肺炎」ではこの抗原を回避するだけでずいぶんと良くなりますが、残念ながら、すでに「肺炎」で壊されてしまった傷跡は元に戻りません。

●膠原病性間質性肺炎

もう一つの具体例としては「膠原病性間質性肺炎」があります。「膠原病」というのも聞きなれない病名だと思えます。先にあげた免疫細胞の異常なのですが、外来異物ではなく、自分の体の一部を敵とみなしてしまう奇妙な病気です。自己免疫ともいいます。なかでも有名なのは「リウマチ」です。これは自分の関節を敵として攻撃してしまう病気ですが、リウマチ患者さんの体の中では、しばしば肺も攻撃対象になることがあります。異物が侵入したわけではないのに、異物が侵入したと勘違いして攻撃するわけです。



連携医のご紹介

福岡小児科医院



院長 福岡 和子

診療科目 小児科・内科

診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	休	○	○	○
14:00～17:30	○	○	休	○	○	○

*午後の診療受付時間は17時までとなります。

休診日 水曜日・日曜日・祝祭日

連絡先 〒301-0041 茨城県龍ヶ崎市若柴町1232
☎ 0297-66-3245

福岡小児科医院は、当年おかげさまで40周年を迎えます。龍ヶ崎ニュータウン発足に機を合わせて開院しましたので、当時の若い第1世代のお子さんたちが成長して、今や第2世代のお子さんたちも青年期を迎えております。

お子さんの成長と発達に寄り添って、病気や心配ごとある時、健診や予防接種の時、近くの1次医療機関としてお役に立って来られたのも、いざと

いう時、2次医療機関として常に背後で支援して頂きました取手協同病院～JAとりで総合医療センターの歴代の先生方の存在があったからであります。感謝に堪えません。

少子化時代を迎えて、心身の健康な成長に必要な支援は様々に変化しておりますが、病診連携の絆をいっそう強くして参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

新人のご紹介

薬剤部



今年度薬剤部は4人の新人さんを迎えることができました。薬に関連する知識や細やかな配慮が求められる日々の業務の中でわからないことは周りに助言を求めつつ、切磋琢磨しながら仕事に励んでいます。入職して8ヶ月ですが、4人の仕事ぶりに私たちも助けられることが多いです。これからの成長を楽しみにしつつ、私たち先輩薬剤師もお手本となるよう努力していきたいと思っております。

小島・諏訪原

おいしい治療食のレシピ

JAとりで総合医療センター 栄養部

血液透析食



材料 1人分

ごはん 180g

ドライカレー

- ・牛豚合挽肉 80g
- ・玉ねぎ 60g
- ・にんじん 10g
- ・セロリー 10g
- ・ピーマン 10g
- ・干しぶどう 10g
- ・白絞油 4g (小さじ1杯)
- ・おろし生姜 2g
- ・おろしにんにく 2g
- Aコンソメ顆粒 2g (小さじ1/2杯)
- Aウスターソース 6g (小さじ2杯)
- Aカレー粉 2g (小さじ1杯)
- Aコショウ 0.1g
- Aナツメグ 0.1g
- Aトマトケチャップ 10g (大さじ2/3杯)
- ・パセリ 0.5g (あれば)

グリーンサラダ

- ・レタス 20g (葉1~2枚)
- ・ブロッコリースプラウト 5g
- ・マヨネーズ 10g

作り方

ドライカレー

- ① 玉ねぎ、にんじん、セロリー、ピーマンはみじん切りにする。
- ② 油をしいたフライパンを熱し、①の野菜とおろし生姜、おろしにんにくを炒める。
- ③ 野菜がしんなりしてきたら牛豚合挽肉を加えて炒める。
- ④ 干しぶどうとAを入れ、全体に炒め合わせたら完成。
- ⑤ 器に盛り、あればパセリをみじん切りにしてかざる。

グリーンサラダ

- ① レタスは良く洗い食べやすい大きさに切る。
- ② ブロッコリースプラウトは根元を切りよく洗う。
- ③ ①、②を合わせて器に盛る。

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	カリウム (mg)	リン (mg)	食塩 (g)
ごはん180g	291	5.2	0.8	66	76	81	0
ドライカレー	299	15.7	19.7	19.2	551	139	1.8
グリーンサラダ	70	0.5	7.5	0.8	47	14	0.2
合計	660	21.4	28.0	86.0	674	234	2.0

出前講座を12回開催しました

今年には12回出前講座を開催しました。今後もできるだけご要望に沿った内容で開催していきたいと思っておりますので、ご希望がある場合は当院の広報室へご連絡をお願いします。

☎ 0297-74-5551 JAとりで総合医療センター 広報室

月日	場所	テーマ	講師
2月15日	桜が丘自治会館	歯舌のどの機能を維持することの重要性について～要介護状態になった後の介護ケアにおける口腔機能の重要性について～	高齢者歯科科長 井口寛弘
2月20日	井野公民館	転倒予防教室	理学療法士 板垣昭宏 理学療法士 稲葉秀仁
2月27日	取手市藤代地域子育て支援センター	これって病気?お子さんのからだの疑問に小児外科医がお答えします	小児外科科長 小野健太郎
7月9日	小文間公民館	高齢者がかかりやすい感染症	感染管理認定看護師 神津文字
7月30日	桜が丘自治会館	アルツハイマー病新薬により認知症治療はどう変わるか	院長 富満弘之
9月10日	取手市なないろ子育て支援センター	これって病気?お子さんのからだの疑問に小児外科医がお答えします2024	小児外科科長 小野健太郎
10月18日	桑原集会所	歯と口の健康づくりについて～オーラルフレイルを予防しましょう～	歯科衛生士 野島矩子
11月10日	守谷市保健センター	これって病気?パパにもきいてほしいおとこのおちんちん講座	小児外科科長 小野健太郎
11月12日	取手市白山地域子育て支援センター	これって病気?お子さんのからだの疑問に小児外科医がお答えします2024	小児外科科長 小野健太郎
11月19日	井野公民館	脳卒中にならないためには	脳神経内科 松本仁圭
11月28日	藤代公民館	転倒予防について	理学療法士 伊藤一志 理学療法士 遠藤博
11月29日	中央タウン集会所	認知症予防について 転倒予防について	脳神経内科 金亮秀 理学療法士 板垣昭宏

お知らせ

年末年始の休診について

年末年始は下記の期間一般外来を休診とさせていただきます。なお、救急外来はこの間も24時間診療しております。

2024年12月28日(土)～2025年1月3日(金)



「JAとりで通信」のアンケートにご協力をお願いします

右のQRコードからアンケートを開きお答え頂くようお願いいたします。



腎センターで避難訓練を実施しました

当院の腎センターで11月と12月に避難訓練を行いました。地震が発生し、院内で火災も発生したという想定で、日中と夜間の血液透析患者さんを対象に行いました。警報音が鳴るとスタッフが大きな声で「ベッドでお待ちください。今、被害状況を確認しています」と患者さんに声掛けをして廻り、気分の悪い患者さん

がないか確認していました。

訓練には医師、看護師、臨床工学技士、ナーシングアシスタントが参加し、避難訓練の内容を確認し評価するスタッフも配置していました。夜間の訓練では、待合室に避難してもらった患者さんに避難時の注意点などを説明し終了しました。



患者さんとスタッフを避難誘導する看護師



患者さんを車椅子で避難させている様子

マイナ保険証の受付をお願いします



カードリーダー

マイナ保険証の受付をお願いします。マイナ保険証のご受付手順は次の通りです。

- ① マイナ保険証をカードリーダーの中に置いてください。
- ② 本人確認を顔認証又は暗証番号(4桁)で行います。
- ③ 診療・服薬・健診情報の利用について確認すると終了です。
- ④ マイナ保険証を取り出してください。

*ご不明な場合は職員にお声掛けください。

今月の表紙

特定行為研修で学んだ知識や技術を患者さんに還元できるよう自己研鑽を続けています。所属部署で活動を始めていますのでよろしくお願いいたします。